

山の百名花 番外編

岩崎 一郎

【101】カキノハグサ

カキノハグサとの出会いは、鳳来寺山である。2005年、「還暦記念イベント」自分なりの基準で新日本百名山を選定し、その100山に1年間で登るというチャレンジを試みた。新日本百名山は、47都道府県から1山づつ選び、山好きだったら登っておくべき山を考えて100山選んだ。深田百名山とは、52山が重なっている。

鳳来寺山は、愛知県から選んだ「ぼくの新日本百名山」。そのガイド記事にあったのが、カキノハグサ。それまで聞いたこともない花だった。山野草の図鑑には、ヒメハギ科ヒメハギ属とある。ヒメハギという野草も知らなかった。若い頃、ガムシヤラに山に登っていて、花を覚えることをしなかった。「中高年と女性のための山の遠足」を始めたばかりの頃、花の名前を聞かれても答えられなかった。いつしかシナノキンバイだのヨツバシオガマだの、一般的な花の名前は頭に入ったが、カキノハグサは入ってこなかった。

2005年6月3日、鳳来寺山を目指した。鳳来寺本堂から奥ノ院への山道に入っ
てしばらく登った辺り、林の中にひっそりと咲いているカキノハグサを発見。「自生環境：山地のやや乾いた林下」と、図鑑にある通りであった。



【102】ザゼンソウ

サトイモ科ミズバシヨウ属の多年草。北海道、本州、朝鮮半島、アムール、サハリンほか、に分布すると花図鑑にあった。丸

州にはないようだ。花の形はミズバシヨウである。ミズバシヨウ属だから、当然と言えば当然の話。形が同じで色違いという、パツと頭に思い浮かぶのは、ピンクのカタクリと黄色のグレーシャーリリーだ。

ザゼンソウの花と初めて出会ったのが、いつこの山であったかは記憶にない。記憶に残っている山は3山ある。1つは、利尻岳。登山道の脇にポツンと咲いている様が、マブタに残っている。2つめは、人形山。かつて秘境と謳われた、越中五箇山の上にある。「ぼくの新日本百名山」、富山県から選んだ1山だ。人形山の登山道でも、道端にポツンと一輪咲いていた。ミズバシヨウと違って群生しない花だとばかり思っていたら、ミズバシヨウと同じように群生するザゼンソウに、小倉山で出会った。

小倉山は塩山市郊外にある公園のような山である。今年、2010年3月4日に登ってきた。登山口までタクシーで入ったら、1時間たらずで頂上だった。初めて見た時は不気味な花の色だと思ったが、見慣れてきたら味のある色だと思うようになった。